

この人にインタビュー

若尾幸将

株日東製陶所
代表取締役社長

生年月日：昭和 45 年 11 月 13 日
血液型：O 型
家族：妻・娘・息子 2 人

株日東製陶所
本社工場
〒507-0072 多治見市明和町 1 丁目 125 番地
TEL 0572-27-2155 FAX 0572-27-9089
e-mail:yukimasa@nittoseitosh.co.jp
伏見工場
〒505-0126 可児郡御嵩町上恵土 657 番地
TEL 0574-67-1175 FAX 0574-67-1177
東京オフィス
〒106-0031 東京都港区西麻布 4-10-3
ヴィラあざぶ 102

インタビュアー

- 広報担当副会長
株主婦の店 土岐店 土本 大
- 広報委員長
尾濃化研工業(株) 尾崎 禎泰
- 広報副委員長
有マツイデンキ 松井 啓至
- 広報副委員長
リビング市原商事(有) 市原 崇光

I N T E R V I E W

尾崎 本日は株日東製陶所 若尾社長を法人会の皆様にご紹介したいとお邪魔しました。

早速ですが、御社の概要についてお聞きします。

若尾 昭和 25 年 2 月、祖父がタイル、食器の釉薬製造で会社を創業しました。

釉薬だけではということで、ヨーロッパ向けの内装タイルの製造を始めました。その後、円高となり内地に転換しマンション・箱物の建設用外装タイルを始めました。

外装タイルを中心としていましたが、5年前からは内装タイルにも力を入れ、内外装にタイルを使った商品に力を入れています。内装タイルは小さいので取り扱いがすごく面倒ですが、一般の人の目や手に触れるものなので始めました。タイルは地場産業ですが、私の子供もそうですが、国内の9割方のタイルをこの辺りで生産していることを

知らない人が多いですね。

従業員は本社工場に 70 人、伏見工場に 100 人、合計 170 人です。

60 歳以上の従業員も 20 人以上います。細かい仕事など色々ありますので元気なうちは働いてもらっています。また新卒の採用も積極的に取り組んでいます。従業員の平均年齢は 38 歳ですので、年齢の構成は若返ってきています。

尾崎 定年は 60 歳ですか？

若尾 当社の定年はご質問のとおり 60 歳です。継続雇用の関係でお互いに話し合いをして、基本的に継続して働いてもらっています。

尾崎 一旦退職でなくて、そのまま継続雇用ですか。

若尾 退職して、継続再雇用としてきてもらっています。



市原 再雇用の時の給料設定はどのようにしていますか。

若尾 給料面はお互い話し合い、同意の上で再雇用としています。

尾崎 私の出身は御嵩の伏見ですので、御社と伏見タイルさんの2社を知っています。子供のころ友達の家が木枠に入れるタイルの内職仕事を下請けでやっていました。今でも当時と同じような内職はありますか。

若尾 今も内職仕事はあります。一部機械化はしましたが、どうしても人間の手が入る仕事がありますので60歳以上の方にやって頂いています。

市原 私も夜遅くまで木枠にタイルを入れてガラガラやっているのを見ました。

自社タイルの魅力をエンドユーザーに認知してもらい需要を掘り起こしていきたい

尾崎 社長の経営戦略についてお伺いします。三代目の社長として、元気の良い会社の戦略を教えてください。

若尾 当社は、外装の壁・内装のタイルが主力ですが、笠原のメーカーの協力を得、当社にない床タイルを導入することで、トータルで総合メーカーとして商社・設計・デベロッパーに営業展開が出来ます。

出荷量は7割が東京ですので、今年の5月から若手社員を東京に赴任させ、人脈作りのため東京の西麻布に営業所を開設し、新宿にショールームを1月から出すことになりました。

営業の女子職員が「タイルで作ったループタイ・ボタン」等、今まで考えもつかなかった商品を開発し、雑貨屋に売りに行ったところ、まずまずの

売上がありました。茶碗祭りでは200人以上の方がタイルの詰め放題に参加して下さったり、タイルで作ったお皿も販売しました。又、インターシップの女子大生が考案したタイルの洋服ボタンも近く発売し、美濃焼タイルを消費者にアピールしています。

松井 タイルのデザインは大切だと思います。デザインで売り上げが大きく左右されると思いますがどうでしょうか？

若尾 当社は基本的に社内でデザインを考案しています。7割は設計・デベロッパーが求めるタイルの色とかデザインで決まります。ある意味、デザイナーは設計・デベロッパーと思います。

タイルの色は非常に難しく、微調整して商品を完成させています。

尾崎 次に、地域とのつながりについてお伺いします。

若尾 タイルの生産高は9割が東濃地方で占め、残りの1割は常滑です。当地においてタイルの文化を広めていくことが必要と考え、夏休みに無料で工作教室を開催しています。

広告を掲載しますとすぐに電話が入り、30分位で160人の定員がすぐに一杯になります。タイルで絵を描いたりする子供の自由な発想を見る事ができ、勉強になることもあります。そんな姿を見ているとタイルの文化を残していけると思い、社会貢献できたかなと感じます。

市原 小売でタイルを販売している所はありますか。

若尾 タイルの仕事は職人が絡んできますので小売りはないと思います。

土本 私の会社にもホームセンターがありますが、タイルは取扱っていません。

若尾 ネットで取扱っている商社がありますが、タイルの種類が多様ですごく煩雑と言っていました。

祖母の思い出と、会社の信条「一筋にひたむきに」

尾崎 人生観、座右の銘についてお伺いします。

若尾 祖父が40年前、突然仕事先のドイツで亡くなり、祖母が社長を引継ぎました。当時、私は3歳でしたが、小学校、中学校、高校と祖母の働く姿を見ていましたので、祖母の言葉は絶対です。祖母の「タイル以外はやるな」という言葉は今も生きています。

会社の信条「一筋にひたむきに」のとおり、当社はタイルを造り続けています。

尾崎 タイル業界のオンリーワンを目指して下さい。社長になられて何年になりますか。

若尾 平成23年8月に就任し、3年が経過しました。前社長から突然、社長交代を告げられました。社長を引受けた後は、私の方針で会社運営に当たっています。先代は経営について何も口出しはしませんので、従業員は私の方針に従い、ついてきてくれます。本当にありがたいことと感謝しています。先代は会長職ではなく、相談役として世話になっています。

市原 社長はどこかに勤められてから会社を継がれたのですか。

若尾 大学を卒業してから銀行に就職しました。銀行勤めはすごく楽しかったのですが、祖母の「会社にすぐ戻ってこい」の一言で銀行を退職し当社に入りました。

尾崎 次に、趣味や健康法について教えてください。

若尾 中学3年生の娘が、クラブ活動でソフトボール部に入っていたので、3年間練習、試合等で土曜日、日曜日一緒に楽しんだのが健康法といえるでしょうか。今は小学3年生の息子が野球を始めましたので、これから6年間ぐらいは野球を介して息子と楽しめると思います。ゴルフはお付き合い程度です。

市原 子供さんと共通の話題で話し合えるのは幸せですね。

若尾 今は娘とソフトボールの話題で会話ができませんが、もう少したてば娘は口も聞いてくれなくなるのかなと思っています。

尾崎 最近チャレンジしていることを教えてください。

若尾 いろいろやっています。良い会社を目指すために、従業員から意見を吸い上げ、それをヒントに日々改善しています。例を上げますと、職場環境の改善として、ミストの扇風機を導入、冷凍庫を工場に設置しアイスを提供、トイレを改善するなど、意見を少しでも吸い上げ環境を変えることにより、従業員の労働意欲向上を図っています。

尾崎 どの会社も同じですが、製造業は特に作業環境を良くしないとだめですね。

若尾 チャレンジと言えば、コパンに毎週運動に行っています。煙草を4年前にやめてすごく太りました。日経をもっていき30分から1時間ぐらい新聞を読みながら運動をしています。すぐに時間



が過ぎ楽しくやっています。

「日東イズム」の実践

尾崎 福利厚生充実が大切ですね。社員旅行など行っていますか。

若尾 旅行はタイルの窯がある関係でいけません。懇親会を年1回全社員が集まり実施しています。

土本 先程、従業員170名とお聞きしましたが会場の確保はどのようにしてみえますか。

若尾 170名を収容できる会場はありませんので、ゴルフ場を借りています。

土本 平均年齢38歳とお聞きしましたが社員教育はどのように実施していますか。

若尾 職場内で上司や先輩が部下に日常の仕事を通じて教育するOJTが基本です。教える方も勉強になり、双方のスキルアップにつながります。

土本 祖父から受け継がれた「日東イズム」を社員に植え付けることが大切ですね。

若尾 タイルを作りたいと思って入社した従業員はいませんが、仕事をしている内にタイルが好きになります。

私は、従業員が会社を好きになるようにするにはどうすればよいかを常に考え行動しています。

法人会との関わりでは、各種のセミナーは会社経営に於いて勉強になりますので、今後も積極的に参加していきたいと考えております。

土本 本日初めて社長とお会いしましたが、従業員さんともこんな感じで接してみえるのでしょうか。第1印象で私が感じた43歳という社長の若さ、さわやかさ、そして好感度、それが成長の原動力になっていると思います。

本日はお忙しいところ、また貴重な時間をいただきまして本当に有難うございました。

平成26年度「グッドカンパニー大賞」 特別賞受賞

今回「この人にインタビュー」で訪問致しました、株式会社日東製陶所 若尾社長様は、第48回（平成26年度）『グッドカンパニー大賞』特別賞を受賞されました。誠におめでとうございます。

同賞は、中小企業の振興を図るために創設された制度で、全国の中小企業の中から経済的、社会的に優れた成果を上げている企業を発掘し、顕彰するものであります。

「特別賞」の表彰種別・表彰基準は、省資源、環境保全、内需開拓、雇用福祉、地域復興など現代社会の緊要な要請に対して特に貢献度が高い企業であって、最近3年間の業績推移が相当なものであり、将来性があると認められる企業、と明記されています。

当法人会の会員が受賞されましたことは、大変名誉なことであります。

今後、ますますのご活躍と地場産業の発展に寄与されますことを期待致します。



本社事務所



本社工場



伏見工場



本社ショールーム



伏見工場管理課